

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	市街地における総合的な治水対策(防災・安全)(重点計画)												
計画の期間	平成30年度 ~ 平成34年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	舞鶴市												
計画の目標	市街地浸水対策の実施により、安心・安全に暮らせるまちづくりを推進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,773	A	1,700	B	0	C	73	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	4.11	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	市街地における都市浸水解消の区域率を0%から25%に増加させる。	0%	10%	25%
	市街地における都市浸水解消の区域率 浸水が解消した区域数/浸水の解消を図る区域数(4箇所)	0%	10%	25%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	C07-001	下水道	一般	舞鶴市	直接	舞鶴市	管渠（ 雨水）	-	市街地ハザードマップ	ハザードマップ作成	舞鶴市						20		-	
		ハザードマップの公表により、災害時における住民の適切な対応を促し、浸水被害の軽減を図る。																		
	浸水対策																			
	C07-002	下水道	一般	舞鶴市	直接	舞鶴市	管渠（ 雨水）	-	小規模各戸貯留浸透施設	小規模各戸貯留浸透施設助成	舞鶴市						3		-	
		雨水ます等の活用により、地域住民と連携した浸水対策を促進することにより、浸水被害の軽減を図る。																		
	浸水対策																			
C07-003	下水道	一般	舞鶴市	直接	舞鶴市	管渠（ 雨水）	-	排水ポンプ車	排水ポンプ車購入	舞鶴市						50		-		
	災害時における排水ポンプ車の活用により、浸水被害の軽減を図る。																			
浸水対策																				
											小計						73			
											合計						73			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

舞鶴市

事後評価の実施時期

令和5年4月

公表の方法

舞鶴市の公式ホームページでの閲覧

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・計画に不測の時間を費やしたため、施設整備が次年度以降になった。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

・ハザードマップが完成し公式ホームページで公表したため、市民に浸水被害箇所について周知が図れるようになった。

特記事項（今後の方針等）

・排水ポンプの購入をすすめ、浸水の解消する区域を増やしていく。

